

【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年12月24日
【中間会計期間】	第100期中（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	福井鉄道株式会社
【英訳名】	FUKUI RAILWAY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 治夫
【本店の所在の場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778)21 0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【最寄りの連絡場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778)21 0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【縦覧に供する場所】	該当なし

## 1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年12月25日に提出いたしました第100期中（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するために半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の中間連結財務諸表については、新日本有限責任監査法人により監査を受けており、中間監査報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

###### (1) 連結経営指標等

#### 第2 事業の状況

##### 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 財政状態の分析

#### 第5 経理の状況

##### 2. 監査証明について

##### 1 中間連結財務諸表等

###### (1) 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

中間連結株主資本等変動計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等  
 (訂正前)

回次	第98期中	第99期中	第100期中	第98期	第99期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
純資産額 (千円)	418,838	374,621	309,569	502,648	454,342
総資産額 (千円)	4,055,772	3,978,490	4,026,368	4,826,804	5,215,337
1株当たり純資産額 (円)	564.71	505.54	417.59	678.55	613.23
自己資本比率 (%)	10.3	9.4	7.6	10.4	8.7

(訂正後)

回次	第98期中	第99期中	第100期中	第98期	第99期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
純資産額 (千円)	363,288	319,071	254,019	447,098	398,792
総資産額 (千円)	4,000,222	3,922,940	3,970,818	4,771,254	5,159,787
1株当たり純資産額 (円)	489.64	430.48	342.53	603.48	538.16
自己資本比率 (%)	9.1	8.1	6.4	9.4	7.7

### 第2【事業の状況】

#### 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、4,026,368千円（前連結会計年度末5,215,337千円）となり1,188,969千円減少いたしました。（以下略）

(訂正後)

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、3,970,818千円（前連結会計年度末5,159,787千円）となり1,188,969千円減少いたしました。（以下略）

## 第5【経理の状況】

## 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間連結財務諸表及び中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間連結財務諸表及び中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

なお、半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

## 1【中間連結財務諸表等】

(1)【中間連結財務諸表】

【中間連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2 72,668	2 76,951
長期貸付金	586	375
繰延税金資産	70,886	65,073
その他	119,026	108,353
貸倒引当金	13,667	5,679
投資その他の資産合計	249,500	245,073
固定資産合計	3,081,819	3,079,772
資産合計	5,215,337	4,026,368
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	522,781	694,568
株主資本合計	138,410	310,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,269	5,809
土地再評価差額金	5 656,636	5 646,777
退職給付に係る調整累計額	67,707	33,369
その他の包括利益累計額合計	592,198	619,217
少数株主持分	554	550
純資産合計	454,342	309,569
負債純資産合計	5,215,337	4,026,368

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2 72,668	2 76,951
長期貸付金	586	375
繰延税金資産	15,336	9,523
その他	119,026	108,353
貸倒引当金	13,667	5,679
投資その他の資産合計	<u>193,950</u>	<u>189,523</u>
固定資産合計	<u>3,026,269</u>	<u>3,024,222</u>
資産合計	<u>5,159,787</u>	<u>3,970,818</u>
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	578,331	750,118
株主資本合計	<u>193,960</u>	<u>365,748</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,269	5,809
土地再評価差額金	5 656,636	5 646,777
退職給付に係る調整累計額	67,707	33,369
その他の包括利益累計額合計	<u>592,198</u>	<u>619,217</u>
少数株主持分	554	550
純資産合計	<u>398,792</u>	<u>254,019</u>
負債純資産合計	<u>5,159,787</u>	<u>3,970,818</u>

【中間連結株主資本等変動計算書】

(訂正前)

前中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	284,370	535,553	151,182
当中間期変動額				
中間純損失( )			128,673	128,673
土地再評価差額金の取崩			1,107	1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	-	-	127,565	127,565
当中間期末残高	100,000	284,370	663,118	278,748

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,432	657,743	-	653,311	518	502,648
当中間期変動額						
中間純損失( )						128,673
土地再評価差額金の取崩						1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	646	1,107	-	461	0	461
当中間期変動額合計	646	1,107	-	461	0	128,027
当中間期末残高	3,785	656,636	-	652,850	518	374,621

当中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	284,370	<u>522,781</u>	<u>138,410</u>
当中間期変動額				
中間純損失（ ）			181,646	181,646
土地再評価差額金の取崩			9,859	9,859
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	-	-	171,787	171,787
当中間期末残高	100,000	284,370	<u>694,568</u>	<u>310,198</u>

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,269	656,636	67,707	592,198	554	<u>454,342</u>
当中間期変動額						
中間純損失（ ）						181,646
土地再評価差額金の取崩						9,859
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	2,539	9,859	34,338	27,019	4	27,014
当中間期変動額合計	2,539	9,859	34,338	27,019	4	144,772
当中間期末残高	5,809	646,777	33,369	619,217	550	<u>309,569</u>

(訂正後)

前中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	284,370	591,103	206,732
当中間期変動額				
中間純損失( )			128,673	128,673
土地再評価差額金の取崩			1,107	1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	-	-	127,565	127,565
当中間期末残高	100,000	284,370	718,668	334,298

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,432	657,743	-	653,311	518	447,098
当中間期変動額						
中間純損失( )						128,673
土地再評価差額金の取崩						1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	646	1,107	-	461	0	461
当中間期変動額合計	646	1,107	-	461	0	128,027
当中間期末残高	3,785	656,636	-	652,850	518	319,071

当中間連結会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	284,370	<u>578,331</u>	<u>193,960</u>
当中間期変動額				
中間純損失（ ）			181,646	181,646
土地再評価差額金の取崩			9,859	9,859
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	-	-	171,787	171,787
当中間期末残高	100,000	284,370	<u>750,118</u>	<u>365,748</u>

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,269	656,636	67,707	592,198	554	<u>398,792</u>
当中間期変動額						
中間純損失（ ）						181,646
土地再評価差額金の取崩						9,859
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	2,539	9,859	34,338	27,019	4	27,014
当中間期変動額合計	2,539	9,859	34,338	27,019	4	144,772
当中間期末残高	5,809	646,777	33,369	619,217	550	<u>254,019</u>

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
 (訂正前)

前中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,039,817	1,284,346	17,539	2,341,703	99,828	2,441,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,569	90,077	2,334	96,980	82,112	179,093
計	1,044,386	1,374,424	19,873	2,438,684	181,940	2,620,624
セグメント利益又は損失( )	155,225	12,872	14,061	154,037	24,831	129,206
セグメント資産	2,313,419	860,020	511,813	3,685,254	106,703	3,791,957
その他の項目						
減価償却費	55,763	2,899	2,753	61,417	1,652	63,069
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,642	-	-	16,642	-	16,642

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

当中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	977,819	1,698,818	16,888	2,693,525	70,457	2,763,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,694	76,659	2,334	83,687	62,229	145,916
計	982,513	1,775,477	19,222	2,777,213	132,686	2,909,899
セグメント利益又は損失( )	160,984	35,915	12,562	184,336	7,940	176,396
セグメント資産	2,493,989	1,036,573	495,937	4,026,499	85,846	4,112,346
その他の項目						
減価償却費	58,637	8,206	1,514	68,357	779	69,136
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	79,527	5,070	-	84,597	400	84,997

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

(訂正後)

前中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,039,817	1,284,346	17,539	2,341,703	99,828	2,441,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,569	90,077	2,334	96,980	82,112	179,093
計	1,044,386	1,374,424	19,873	2,438,684	181,940	2,620,624
セグメント利益又は損失( )	155,225	12,872	14,061	154,037	24,831	129,206
セグメント資産	2,257,869	860,020	511,813	3,629,704	106,703	3,736,407
その他の項目						
減価償却費	55,763	2,899	2,753	61,417	1,652	63,069
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,642	-	-	16,642	-	16,642

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

当中間連結会計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	977,819	1,698,818	16,888	2,693,525	70,457	2,763,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,694	76,659	2,334	83,687	62,229	145,916
計	982,513	1,775,477	19,222	2,777,213	132,686	2,909,899
セグメント利益又は損失( )	160,984	35,915	12,562	184,336	7,940	176,396
セグメント資産	2,438,439	1,036,573	495,937	3,970,949	85,846	4,056,796
その他の項目						
減価償却費	58,637	8,206	1,514	68,357	779	69,136
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	79,527	5,070	-	84,597	400	84,997

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(省略)

(単位:千円)

資産	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	3,685,254	4,026,499
「その他」の区分の資産	106,703	85,846
全社資産(注)	639,139	649,789
セグメント間取引消去	452,606	735,767
中間連結財務諸表の資産合計	3,978,490	4,026,368

(注)全社資産は主として本社土地建物であります。

(省略)

(訂正後)

(省略)

(単位:千円)

資産	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	3,629,704	3,970,949
「その他」の区分の資産	106,703	85,846
全社資産(注)	639,139	649,789
セグメント間取引消去	452,606	735,767
中間連結財務諸表の資産合計	3,922,940	3,970,818

(注)全社資産は主として本社土地建物であります。

(省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
1株当たり純資産額	613.23円	417.59円

(省略)

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
1株当たり純資産額	538.16円	342.53円

(省略)

## 独立監査人の中間監査報告書

平成27年12月24日

福井鉄道株式会社

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田光 完治 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石田 健一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている福井鉄道株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る訂正後の中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について中間監査を行った。

#### 中間連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間連結財務諸表には全体として中間連結財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間連結財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して、福井鉄道株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### その他の事項

半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、中間連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の中間連結財務諸表に対して平成26年12月25日に中間監査報告書を提出した。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は半期報告書提出会社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれておりません。